【はじめに】

○ ともに行う訪問介護事業所では自立支援,QOL向上に資する身体介護の見守り的援助“共に行う調理”を提供している.

○ なめだリハビリテーションクリニックとの連携で生活機能向上連携加算を算定し,一人二役の訪問リハ・共に行う調理で見えてきた課題をKPT法にて整理した.

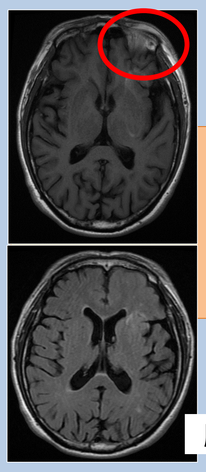
医療法人こうじょう会　なめだリハビリテーションクリニック
診療方針「らしく活(生)きるを応援します」

生活機能向上連携加算

住所:堺市北区南花田町1692-2

(株)アクティブと連携し,
訪問リハビリテーションを提供
PT・OT・STが多数在籍

【利用者様紹介】


脳CT画像

〈健康状態〉
右橈骨骨折後の変形治癒の術後(腸骨の移植術)
30数年前の頭部外傷による高次脳機能障害(診断は10年前)

〈心身機能〉
右手指の拘縮
右手指屈曲のROM制限
右手の握力低下
記憶障害や注意障害等の高次脳機能障害

↔

〈活動〉
屋外歩行自立
ADL自立
IADLは清掃の生活援助、調理の身体介護のヘルパー利用中
洗濯、買い物、公共交通機関の利用、外出は自立

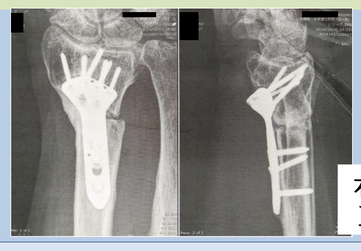
↔

〈参加〉
社会保険労務士の研修会
高次脳機能障害の研修会
町会活動や市民活動への参画
(市議会議員の後援会活動、チラシ配布等)

〈環境因子〉
住居:独居
支援者となる家族あり、知人が多い

↔

〈個人因子〉
性格:前向き、意欲的、高い向上心・知的好奇心
職歴:元警察官、事務員、社会保険労務士


右手関節
X線画像

調理場面

【内容・経過・結果】

☆経過の詳細は弊社公式ブログ“アクティブ報告”にて公開中☆

リハ・ケア 一人二役	平成29年 2017年8月訪問開始	平成30年 2018年4月	平成31年 2019年2月　リハ・ケア開始	令和元年 2019年10月現在	メニュー 一例

なめだ リハビリテーション クリニック

作業療法士による
訪問リハビリテーション
↓
○右手指ROMの拡大
○右手握力の向上
○包丁グリップの改善

40分×週2回

ともに行う 訪問介護事業所

介護福祉士による
訪問介護
身体介護の
見守り的援助
“ともに行う調理”
↓
○料理を通した
右手指・記憶面への働きかけ
○出来るだけ失敗を回避して
ご自分で料理全般を経験し
楽しむ機会の提供

60分×週1回

握力　右10.8kg、左35.6kg

握力　右24.9kg、左37.3kg

●「固くて人参は無理だね」「人参を包丁で切れるくらいになりたいね」

指尖～手掌面間 開始時	ROM前(自動)	ROM後(自動)
第Ⅲ指	7.0	4.3
第Ⅳ指	7.3	4.6
第Ⅴ指	2.8	1.8

2018年4月	ROM前(自動)	ROM後(自動)
第Ⅲ指	3.8	2.7
第Ⅳ指	5.1	2.8
第Ⅴ指	1.8	1.4

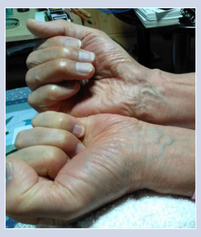
握力　右27.0kg、左36.1kg

◎「きんぴらゴボウを自分で作って食べたい」
↓
ケアマネージャーさんに“共に行う調理”を提案
↓
サービス担当者会議の開催
↓
サービス利用開始へ

2019年2月	ROM前(自動)	ROM後(自動)
第Ⅲ指	3.2	2.3
第Ⅳ指	4.4	2.3
第Ⅴ指	1.8	1.3

右手指屈曲のROM向上

握力　右27.1kg、左37.4kg



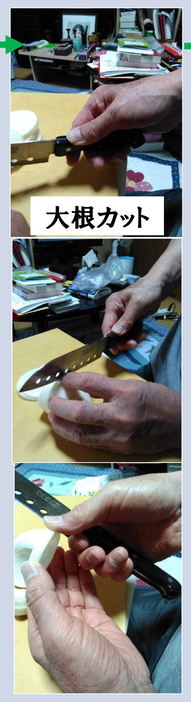
2019年10月	ROM前(自動)	ROM後(自動)
第Ⅲ指	3.3	2.2
第Ⅳ指	4.3	2.3
第Ⅴ指	1.7	1.3

包丁のグリップの経過

訪問リハでの包丁動作評価

○右手首の違和感と痛み(+)
○手指Ⅲ～Ⅳ指の屈曲のROM制限、握力低下のため尺側固定が困難
○強いグリップ不可

●「包丁使えるようになりたいねェ」
●「全然ダメだねェ～無理無理」
●「メモ見ないねェ」
●「メモしてもそれを忘れるからねェ」


大根カット

右前腕中間位
母指,示指,
手掌面
での包丁固定
安定性↓

人参カット

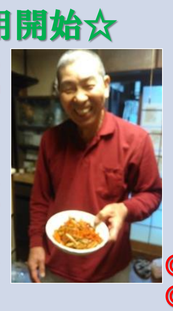
右前腕回内位
示指,手掌面
での包丁固定
安定性↑

大根カット

かぼちゃカット

☆“共に行う調理”利用開始☆

◎「できちゃったねェ」



○右手首の違和感と痛み(+)
○缶詰開け不可
○手順、食材管理に要声かけ

◎「これ、うめえなァ」
●「違和感というか痛いねェ」
●「作り方忘れてしまうねェ」
●「これずっとするの？」

缶詰開けできた！

味付けアレンジできた！

◎「ホッとするねェ」
●「買い忘れちゃうねェ」

◎「その時の感情で覚えてるのかなァ」
◎「料理しながらアレコレ思い出すねェ」

きんぴらごぼう

調理作業場面

固い人参、かぼちゃのカットが可能に
○右前腕回内位での包丁固定
○右手首の違和感、痛み(-)
○手順、食材管理に声かけ↓
○訪問日以外に自ら食事作り↑

◎「全然何ともないねェ」
◎「こんなことできるんだねェ」
◎「今日はどんなのができるのかなァ」

かぼちゃの煮物

◎「料理も買い物も楽しみだもんねェ」

現状分析 KPT法	なめだリハビリテーションクリニック 訪問リハビリテーション	ともに行う訪問介護事業所 身体介護の見守り的援助“共に行う調理”
Keep (続けていくべきこと・良かったこと)	○ともに行う訪問介護事業所と連携したサービスの継続 ○訪問リハ内でできなかった自立支援サービスの実現	○利用者,職員各々の強みや得意を活かしたより踏み込んだ自立支援サービスの実践と連携 ○美味しさ,見た目の良さ等を大切にし,自分で作り上げる経験を通した楽しみと自信の創出
Problem (課題)	○ともに行う訪問介護事業所のサービスにつなげて自立支援サービスを促進させる視点を持つこと ○自立支援サービスにつなげるCMや家族との連携の方法と工夫	○記憶の定着に向けた関わりと生活課題の抽出,その具体的な自立支援の方法の検討及び継続 ○一人二役から他療法士,介護福祉士,訪問介護員への技術伝達とその方法とコツ ○職員個々のエンプロイアビリティ（雇用可能性）の拡大に向けた知識,技術,やりがい支援
Try (具体策・今後の取り組み)	○社内向けの介護福祉士実務者研修を開催中で継続的な担い手の育成（介護福祉士取得支援,療法士のダブルライセンス等） ○社内外の発信（ワークショップ,訪問リハへの同行支援,メルマガ配信,ブログ,SNSの活用等） ○自費サービス開始,サービス提供体制を継続的に整備・構築中	

研修会・ワークショップ

訪問同行支援

実務者研修